

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長  
 デイリー-C.K.ホァン  
 台湾台北



第1302回 例会 平成27年3月10日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 我等の生業 馬場秀則ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介  
 ・伊那市観光協会事務局長 宮澤正己様  
 ・支援留学生 沈昱東さん

■ 会長談話 小川秋實会長



読みやすい日本語は、漢字が多い文ではなく、カナが多い文です。カナは日本で生まれた文字で、日本語を表すのに適しています。しかし、カナだけだと電報の文のようになり、読みにくくなります。しかも、漢字で書いて初めて意味が分かる言葉はカナで書くと意味が分かりにくくなります。程度の高い内容を書くには漢字が必要です。

古代の日本には文字がなかったので、5世紀ごろから中国の文字(漢語の文字)を借りてきて、日本語を書くのに用いました。どのように取り入れたかという点、①漢語の意味を日本語で読む。たとえば、山を「やま」、雲を「くも」、神を「かみ」、犬を「いぬ」と読みました。「訓よみ」と称するものです。②漢語をそのまま日本語として取り入れる。学校、教育、天候、季節など、日本語になかった抽象的な言葉です。③漢語の意味を捨てて、漢語の音で日本語を書く。たとえば、伊は「い」、曾は「そ」、乃は「の」、理は「り」、流は「る」として使いました。これは「万葉かな」と称されています。

江戸時代までは、学問とは字を覚えることごと、そして漢籍を読むことでした。漢字だけの書物の行間に書き込みをするには、狭いところなので、漢字をごく簡略化した字を使いました。「阿」は、「こごとへん」だけを急いで書くと、細長い「ア」になります。「伊」は、「にんべん」だけ書いて「イ」という具合です。このように、漢字の部分どりでカタカナが生まれました。ひらがなは、漢字全体の姿はそのままにし、部分を省略する草書から生まれました。カタカナもひらがなも計画的に作ったものでなく、長い間に自然にできたものです。五十音図の最古のものは平安時代中期(10世紀ごろ)で、現在の配列になったのは室町時代(14-16世紀)以後です。

江戸時代まで、カナは日本語を書く正規の文字とはされませんでした。すべての言葉は、それを表記する漢字があり、また漢字で書くのが正式であると考えられていました。また、漢字をよく知っている人は学問がある人で漢字が多い文章を書く信じられていました。このような風潮に対し、本居宣長(江戸時代最高の日本古典研究家)は、日本人が漢字、漢籍をありがたがるのを批判しました。現代の国語学者の意見でも、カナは日本人が作り出した文字であり、日本語にもっともよく合う。カナを本位とする文体にするのがよいとしています。もちろん、程度の高い内容を言うには漢字が必要です。言葉ごとに漢字で書いたほうが読みやすいか、カナのほうが読みやすいかを判断して、なるべく漢字を使わないほうが読みやすい文章になると思います。

## ■ ニコニコボックス

◆宮澤正己様よりニコニコBOXをいただきました。

◆小川秋實

宮澤正己さんに卓話にお出でいただき有難うございます。  
沈昱東さんのこれからの活躍を期待しています。

◆伊澤和男

本日は宮澤様の卓話、楽しみにしております。

◆中川博夫

先週は、クラブ委員会構成をお認めいただきありがとうございました。皆様のご協力をお願いします。

◆平澤理

宮澤正己様の卓話、楽しみにしています。

◆井上修

東大寺二月堂のお水取りの儀式を見学させて頂きました。普通にあるお寺の行事で、入園料も拝観料も取らない行事だと初めて知りました。

◆唐澤稔

伊那市観光協会 宮澤正己様、本日の卓話を楽しみにしております。  
沈昱東君、1年間お世話になりました。

◆矢島宏

本日、伊那市観光協会事務局長 宮澤正己さんをお迎えして卓話をよろしく申し上げます。  
明るいお話し楽しみです。

◆矢島宏

ソフトボール全国大会 第4回信州伊那サクラ大会が4月18、19日で行われます。今日、広告協賛のお願いをしています。ぜひ趣旨にご理解とご賛同をよろしく申し上げます。

(発表 伊藤幸明委員長)

## ■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

・3月4日(水)伊那西IAC特別例会・3年生送別会の報告 下井達典青少年奉仕副委員長



3月4日午後伊那西高校インターアクトクラブ(IAC)の3年生送別特別例会が同校内で開催されました。提唱クラブである当クラブからは小川会長、青少年奉仕委員会の池上会員、唐澤千明会員、平澤会員と私の5名が参加しました。

今年度卒業する3年生は12名で当日の参加は9名でした。この学年は1年生の時は9名で苦しい出発でしたが、努力で同年度生を13名まで増やし活発な年度となりました。4日例会は今年度68回目の例会となりました。卒業生の進路は地元就職が2名、専門学校へ3名、短大大学へ10名が進学しました。

出席ロータリアンからは其其に印象深い御祝いや饞の言葉が贈られました。都合により出席できなかった矢野委員長からはメッセージが寄せられました。亦、昨年6月に逝去された当クラブ会員で、地区インターアクト副委員長の川上今朝雄さん葬儀の折には伊那西IAC会員から御家族宛にメッセージが寄せられた事から、この席へ故川上会員の奥様から卒業生宛にメッセージが託されました。川上さんの御遺影を胸に抱いた北澤萌会長は感激の面持ちでした。







・3月7日(土) 信州大学農学部外国人留学生送別会の報告 池田幸平国際奉仕委員



3月7日、唐澤副会長、小向幹事、国際奉仕委員の兼子会員、下井会員と私の5人で出席しました。送別会は形式が変わり、今年はロータリークラブの挨拶は懇親会の席上でした。送別会ではシン・リトウ君が在学留学生を代表して送辞を述べました。懇親会では駒ヶ根ロータリークラブの松尾会長のあいさつで始まり最後は我がクラブの唐澤副会長の万歳三唱で和やかな懇親会が盛会のうちに終了しました。



・3月8日(日) RLI卒業コースの報告 伊澤和男会員



3月8日雪積る中、塩尻市民交流センター えんぱーくにて最終第4回目のRLI研修会が行われ、県内45名の卒業コースとなりました。

研修も4回目ともなりますと沢山の仲間と大変親しい間柄となり、研修内容も貴重なものでロータリーの基礎知識もより深めることができましたが、何より各クラブの活動や問題点、悩み、今取り組んでいることなど大変参考になりました。

同じ卒業生として参加された望月ガバナーエレクトの「新しいことを考え、楽しいと思えること、やりきることに達成感を感じられることが頭の体操である。」との感想あいさつは印象的でした。私なりに少し進化したように思います。参加の機会をいただきましたロータリーの仲間の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

■ 出席報告

会員数34名 出席免除会員8名 長欠会員2名 本日出席者23名 事前メイク1名  
出席率82.76% 前回出席率 修正なし (発表 井上修委員)

■ 卓話

卓話者紹介

唐澤千明職業・社会奉仕委員長



伊那市観光協会事務局長の宮澤正己さんを紹介いたします。

昭和23年生まれ 66歳 中野市出身。

株式会社日本旅行、信州・長野県観光協会、名古屋観光情報センター所長等を歴任され、平成23年7月より現職に至る。

伊那市観光協会事務局長として伊那市の観光振興に携わっています。高遠桜だけではなく、地域資源を生かした年間を通じた観光や滞在型の観光の課題などに取り組んでいます。

今後、伊那市の観光をこの観光協会が前面に立って取り組んでいくと思われれます。一層期待するわけです。

**卓話** 伊那市観光協会 事務局長 宮澤正己様



海外では伊那市の認知度は低い。今年、国内の観光客は減少が予想されるが、海外客は取り組み次第で増加の可能性がある。伊那市ではH26～28年の3ヶ年計画を立てているが、その基本方針は①「桜・山・食」といった伊那の三大観光素材の活用すること。②若い人をどう呼び込むか（リピーター、移住などの効果を期待）。その具体策として「農家民泊」に力をいれている。都会で暮らす子供たちは「生きる力」や「豊かな心」に乏しい。農家の人との交流や農業体験を通じて、「知識」を「知恵」へ発展させたい。そのためには心を込めておもてなしすることが肝要。受入体制の整備（施設の衛生面や野外学習のメニュー、安全対策や父兄に対するプレゼンテーションなど）に観光協会としても注力しており、関西地区の学校にも実績が出来つつある。農家民泊の認定を受けた民家は現在28軒、昨年白鳥市長のお宅も認定を受けた。こういった体験型、滞在型の観光には多くの業界のご協力が必要であり、本席の皆様のご支援をお願いしたい。



**■ 臨時理事会報告** 小向誠一幹事

1. 社会福祉法人たかすや福祉会 評議員について
2. その他

**■ 支援留学生送別の会**

**謝辞** 伊那中央RC支援留学生 沈昱東様



一年の終わりがあっという間に迫りました。今回の伊那中央ロータリークラブ教育助成金をいただいた事で、学生生活を充実したものとすることができました。特に研究においては、高山で実験試料の採取、年輪解析作業、学会の研究発表など集中して取り組むことができ、来年の研究報告につながる良い一年にすることができました。これらはロータリークラブの皆様のおかげであり、深く御礼申し上げます。

そしてこの一年の中で、担当の唐澤稔さんには親のように私の面倒をみていただきました。私の勉強を励まして、人生の助言をしていただいて、さらに、忙しい中で大学の文化祭を応援してくださって、本当に感動しました。ありがとうございます。

クラブの皆様方から、様々なものをいただき、RYLA、地区大会、会社の見学、交流会の時、皆様に親切にさせていただいて心から感謝しております。

私の日本語使いが乏しいですが、感謝の言葉はありがとうとしか言えません。最後にこの一年間お世話になりました。ありがとうございます。



**■ 点 鐘** 13:30

次回例会

3月15日(日) 上伊那グループI.M.

3月24日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

・例会前 理事会

・例会後 バラの植栽と鉢植の贈呈式